



Japonais

トゥールーズで唯一の舟、メゾンドウラ ヴィオレットを訪れましょう！

メゾンドウラ

ヴィオレット号はユネスコ世界遺産に指定されたミディ運河の隅を下ろしました。すみれの本当の世界を知っていただくため、エレン

ヴィエとスタッフは2000年7月以来、この1930年建造の伝統的な舟で皆さんをお待ちしています。この地方の伝統を大切に、オリジナルな寄港地です。すみれを扱った商品、試食コーナー、写真パネル、昔の絵葉書なども展示しています。そしてときどき講演会なども開かれたりするマジックな場所なのです。

開館時間

月曜日から金曜日まで： 9時半から12時半まで と14時から19時まで
土曜日： 10時から12時まで と 14時から19時まで

トゥールーズはすみれの都！

19世紀からトゥールーズの北部（ラランド、オーカンビル、サンジョリなどの町）にあった畑で栽培されてきました。

その後この小さな花の栽培はすくなく広がり、1950年代まで600軒の栽培農家が20ヘクタールの畑で花を作っていました。

最初が家庭経営、のちにはすみれとたまねぎの農協もでき、フランスのみならず、ヨーロッパ、ロシアにまで商品が売られていたのです。

すみれ栽培の全盛期は1950年代でした。舞踏会や毎年回りのミスすみれ選友会では、名士などにすみれの花束が贈られ、トゥールーズのすみれは誉れとされていたのです。

1956年:

厳しい冬のせいで、すみれのほとんどがたぬきになってしまいました。畑での大変な労働を伴うこのすみれ栽培は、次第になくなり、冬に花を咲かせる他の植物の栽培へと換えられていきます。1980年には3軒の栽培農家しか残っていませんでした。

1984年:

農業会議所はトゥールーズのすみれを復活させることを決定。実験室での生育（苗の増殖と改良）と棚板を使った栽培がその基礎になっています。

2014年: トゥールーズのすみれの鉢植え、または花束を提供できるのは5軒以下の栽培農家で、メゾン ドゥ ラ ヴィオレットはその1つです。

トゥールーズのすみれの特徴

- 2重のすみれ (30から40枚の花びら)
- 中心部分が白く、薄紫色の花びら
- 非常に香りがいい
- 温室栽培
- 11月から3月に花が咲く
- 挿し芽による繁殖 (種まきできない)
- 凍結しない屋外、影を好む
- 毎年花が咲く、7月上旬で剪定

花栽培と平行して、この地方の企業はすみれから生まれた様々な商品を作っており、舟にもその商品が展示されています。

19世紀以来すみれを結晶させ、あめこしています。

1936年: 「トゥールーズのすみれ」の香水製造

1950年: すみれのリキュールの製造

さまざまな砂糖菓子やトゥールーズ人形の生産

1993年: エレン ヴィエがトゥールーズに「ジャルダン

デレン」を創設。すみれを作り、そのノウハウを伝えるためたまたまできた最初の工房。室内芳香剤、室内香用線香、ろうそく、刺繍物、ジャム、お茶、ハーブティー、はちみつ、マスタード、刺繍入りのリネンなど。

2000年: ミディー運河で浮かぶ舟「メゾン ドゥ ラ

ヴィオレット」号開館。入場無料。乗組員はトゥールーズのすみれの歴史や栽培の経路を紹介してくれます。

2010年以降、夏には甲板ですみれをテーマにした喫煙店が開かれます。

ジャルダンデレンメゾン ドゥ ラ ヴィオレットによる発行書類

Tel : 05.61.99.01.30 / violette@lamaisondelaviolette.com

Face au 3 boulevard Bonrepos 31000 Toulouse

www.lamaisondelaviolette.com

